

よみがえる25年前

1989年
2.3月

これは今から25年前を記憶や資料をたよりにひも解いてみようとする企画です

◆オリエンテーリング世界の考察 (IOF25 より)

IOF25 とは IOF が設立されて 25 年を記念して 1986 年に発行されたものであろうか、執筆された P.O.ベンクトソンはどのような立場の方なのか、O-JAPAN の編集者でありこの文書を訳された田口肇さんも今は世を去られているので、探ることもできないまま紹介させていただきます。

IOF 設立から 2014 年現在の中間点のこの時期に将来を展望したこの文に対して現在はどうであるか。

ここからはベンクトソン氏の考えです。

1961 年にヨーロッパの 10 か国で設立された IOF は 25 年後には 4 大陸 32 か国に増えたが、いまだにアフリカ大陸と南米大陸からの加盟は見えない。ソ連やルーマニアのようなオリエンテーリング大国の加盟が実現できていない一方、加盟国の中には小径をたどっているような弱小の国もある。(注：ソ連は 1987 年に加盟)

オリエンテーリングがスポーツとしてもっと発展してもよかったのではということを含みながらいくつかの考えを述べてみよう。私は 1961 年から海外でのオリエンテーリングを体験し、43 番目の国を走ろうとしている。そして、世界中に素晴らしい環境が存在し、オリエンテーリングをする能力と興味を持った人がいる。しかし世界人口の 5% ほどの人しかオリエンテーリングを知らないであろうと見積もっている。全世界にオリエンテーリングを発展させるためには、新聞やテレビの興味を喚起して大いなる宣伝と多くの情報を生み出す必要がある。

★オリンピックへの参加

世界で最も注目を集め、断然たる魅力を持ったスポーツイベントはオリンピックである。オリンピックが開かれてきた諸国はほどよい距離内に世界選手権基準に適合するようなエリアをもっていたし、冬季オリンピックが開催されたほとんどのところにはフットオリエンテーリングが可能な、しかも雪のない地域があったのである。たとえばユーゴスラビア、フランス、イタリア、アメリカ、日本(注：札幌オリンピック)がそうであった。他と競って夏のオリンピックに参加させようとすることは大変難しいことであるならば、冬のオリンピックの期間中にフットとスキーのオリエンテーリング大会を開催するような柔軟な考えをすべきかもしれない。

★IOF の拡大

オリエンテーリング人口 50 万人といわれるソ連の加盟を一生懸命働きかけるべきである。

★WOC のコースを増やせ

発展の行き詰まりという点では第 1 回世界選手権と同じ 4 クラス(男女×個人・リレー)しか存在しないという問題がある。なぜ我々はクロスカントリースキーと同じようなルールを採用しないのか。個人種目では 3 種類の距離を採用し、自身を試す機会を優れたオリエンティアたちに与え、マスコミはより興味を示し、オリエンティアを奨励することとなろう。適当な優勝タイムとして男子では 40 分 80 分 140 分、女子では 30 分 60 分 110 分であろう。

★テレビジョンスポーツ

われわれはまたオリエンテーリングをテレビジョンスポーツに発展させていかなければならない。私はクロスカントリースキーやバイアスロンの最近の世界選手権やオリンピックの時にはテレビ放送に興奮するような経験をまれに持つし、オリエンテーリングはそのようなスポーツ双方に特性が似ているのである。IOF 技術委員会改良すべきもう一つのことはスタートである。クロスカントリースキーが 30 秒間隔なのにわれわれのスポーツは 3 分間隔である。世界選手権の人気者を 3~4 時間かけてスタートさせることはフェアではない。新聞の興味をそそぎ、テレビの生放送でカバーできない。また、スキーの回転や大回転競技のようにファイナルレースのスタート順を決定するのに、予選の結果を利用しないのだろうか。

ベンクトソンさんのご意見を皆さんはどう受け止められたでしょうか？

時の話題

2月2日ソ連がアフガニスタンから撤退開始

2月7日美空ひばり人生最後のコンサートを小倉北区の九州厚生年金会館で行われる

2月9日鉄腕アトム火の鳥で知られる漫画家手塚治虫が死去

2月24日昭和天皇の大喪の礼

3月17日福岡市シーサイドももちで「アジア太平洋博覧会」開催(～9月3日)サッカーの香川真司誕生

3月25日みなとみらい21地区で「横浜博覧会」開催

大江健三郎著「キルプの軍団」1988年岩波書店

高校オリエンテーリング部主将のオーちゃんを主人公とした作品。